

令和6年度第1回清川村まち・ひと・しごと創生推進会議 意見一覧

	議題	内容
①	総合戦略	<p>清川村も他市町村と同じく「人口減少・超高齢化社会」を迎えています。</p> <p>清川村はこれまでピーク時には約 3500 人の人口を抱えておりましたが、そう遠くない将来には 2000 人前後への人口減少が見込まれているそうです。</p> <p>これらに対する抜本的な対策としては、何よりも清川地域の仕事（雇用）を創出することが喫緊の課題となってきました。最近における清川村の農業を見ますと、住民の高齢化に伴い「茶畑の休耕」も増加し、荒れ地になっているところも散見されるようになりました。</p> <p>このようなところから、各地から若者を呼び寄せ、6次産業化した近代的な茶畑観光農園として事業承継させることが大事なことと思料されます。</p> <p>さらに、最近の円安に伴い、外国人のインバウンドが注目され、外国人が日本の茶畑作業の体験を求めてくるケースも多く見られてきました。外国の方々は、日本人と違って、何よりも「体験学習」することを非常に喜ぶ傾向にあります。</p> <p>そのため、村は、地域住民と協力し、古き良き日本の日常生活を体験できるような古民家や空き家施設を提供できるようにしてはどうでしょうか。これらによって、新たな「民泊需要」を喚起し、村民の仕事も創出できるのではないかと考えております。</p> <p>さらに昨今、国内海外ともに抹茶ブームのため、現在休耕の茶畑や空き地を「抹茶用の茶畑」に活用して、最後の工程の石うすで挽く作業を旅行者自ら行い、自分で作った抹茶を味わったり、抹茶づくしのお料理を出す商業施設を造り、できれば体験型の宿泊も提供してはどうでしょうか。</p> <p>そのためには、水の美味しさをもっと強調して、清川でしか味わえない抹茶や、お土産用の抹茶、抹茶スイーツを SNS で国内外にアピールすることも重要なこととなります。</p> <p>SNS の発信については、成功している地域等の発信事例をリサーチした上、できる限り良いものを作り上げることが望まれます。</p>

②	総合戦略	7月1日に広域行政連絡会から県央やまなみ協議会に名称変更し、今後さらに地域連携を強化していくことから、P5 基本目標「Ⅱ行ってみよう魅力をつくる」をはじめ、都市間連携の視点の記述も盛り込むことを検討してはどうかと考えます。
③	人口ビジョン 総合戦略	今回の改訂には間に合わないと考えますが、次回以降の改訂においては、人口や地方創生においても、目標を達成するために、「清川村はこれが売りだ」というものを村役場でしっかり検討してはどうかと思います。(ブランディングの検討)
④	人口ビジョン	<p>若い世代はSNSから新しい情報をいることがほとんどです。清川を知るきっかけ、移住を考えるきっかけの一つとなるよう、SNS、ネットを最大限に活用していく必要があると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagramのストーリーに流れてくる広告。(秦野市移住体験の広告を見たことがある)</li> <li>・新婚カップル or ファミリー系ユーチューバーとコラボし、実際に短期間での移住体験をしてもらい、その様子や乾燥を交えた動画を作成する。</li> <li>・不動産情報サイトへの掲載 など。</li> </ul> <p>会議でも意見があったように、“たまたま”を知るきっかけを増やすには、プロモーションの拡充が重要だと思います。</p>
⑤	総合戦略	<p>清川村で新たな仕事の創出は重要なことだと思いますが、実際、清川村から周辺自治体に通勤している方が多くいると思います。周辺自治体にある企業と連携し、転勤者やファミリー層社員に清川村への移住案内ができればよいと思います。</p> <p>また、村では車での移動がメインになるので自動車購入費の補助があれば尚良いと思います。</p>
⑥	総合戦略	<p><b>【小学生以上の遊び場や集会所を設ける】</b></p> <p>現在高校2年の子供が小学生になるタイミングで引越しをしました。理由としまして、厚木市林の排気ガスの臭いや水道水のまずさでうんざりし、空気の良い環境で子育てしたいという思うからでした。また当時は子育て環境が他の市町村よりも良かった点、お手頃な地代も後押しした理由の一つでした。しかし、思い描いていた子育てとは違い、子供たちが身体を動かす機会が減ったと感じました。厚木は至る所に公園があり、児童館もあります。買い物ついでに公園に寄ったり、児童館で卓球やホッピングなどもできました。清川は、緑はいっぱいですが、猿やヒルの心配もあり、昔のように野山に行ったり川に行ったりできませんし、公園も怖いときがあります。</p> <p>現在、小学生の娘は放課後、せせらぎ館の図書館や子供スペースで遊んでいます。たまに役場の周りをお友達と走り回っています。車や人を気にせず安心して走り回って遊べる場所があればと思います。中学生の娘はダンスの練習で集まれるところがないかなと言っており、厚木市の公民館やアミューを調べると、登録するのに厚木市勤務、通学者5名以上の人物が必要とのことで登録も躊躇してしまいました。清川の施設もお手頃価格ではなく、中学生でもお手頃に集まれる施設があればと思います。</p>

⑦	総合戦略	<p><b>【緑が見える運動施設】</b></p> <p>年齢を問わずに通えるジムのような施設があれば良いなと思います。普段清川でない人は厚木市まで出向くのは億劫ですが、清川にあれば、気楽に通えます。またジムに通う若者も増えているため、清川以外で働いている方も、通うために清川在住になるかもしれません。皆が健康になるために希望します。若い人も行きやすいように、行きたくなるようなオシャレな外見にし、緑が見え行くのが楽しくなるような施設がよいです。</p> <p>荻野運動公園にあるようなジムとプールがあれば良いなと思います。</p>
⑧	総合戦略	<p><b>【川を綺麗に】</b></p> <p>昔のように川遊びが出来たら魅力的だなあとと思います。</p> <p>ヒルが出ないような対策も何かできないかなと感じています。</p>
⑨	総合戦略	<p><b>【学校、どの授業も各クラス複数教師で対応】</b></p> <p>今現在も科目により、複数の先生で見いただけていますがホームルームから複数対応いただけると生徒同士はもちろんですが、担任教師とのトラブルにも対応しやすいのではと思います。</p> <p>少人数クラスでトラブルがあると、逃げ場がなく、中学卒業までわだかまりを持ちながら過ごすことになります。成長期でもあり、心をかえるのはなかなか難しいです。中学までお友達とも先生とも仲良く過ごせたら、親も安心で、清川で育ててよかったと感じると思います。</p>
⑩	総合戦略	<p><b>【宮ヶ瀬湖、ワカサギ釣り解禁】</b></p> <p>ワカサギ釣りができたら釣り好きや若者が来るきっかけになるのではと思います。</p>
⑪	総合戦略	<p><b>【電気柵をした畑の貸出し】</b></p> <p>電気柵をした畑の貸出しがあれば、動物にやられることも少なく家庭菜園のとりことなり在住者も出るかもしれません。</p>